

# 愛知県流域下水道事業経営戦略 2022 年度の実績

## 1 数値目標※1

項目		2014年度 (基準年)	中期目標	2022年度 までの実績	進捗状況等
快適な 水環境 を創造 する	下水道処理人口普及率 (名古屋市含む)	75.6%	約85% (2025年度)	81.0%	2025年度までの目標85%に対し、 5.4%進捗した(目標に対する進捗率57.4%)
	高度処理人口普及率 (名古屋市含む)	40.7%	約55% (2025年度)	48.4%	2025年度までの目標55%に対し、 7.7%進捗した(目標に対する進捗率53.8%)
安心・ 安全な まちづ くりを 支える	流域下水道の耐震化 処理場・ポンプ場	216施設	269施設 (2023年度)	245施設	2023年度までの目標53施設に対し、 29施設整備した(目標に対する進捗率54.7%)
	流域下水道の耐震化 管きよ	332km	332.9km (2023年度)	332.9km	2023年度までの目標0.9kmに対し、 全て完了した(目標達成)

※1 数値目標は、『あいち下水道ビジョン2025』に示したもののうち、流域下水道に関連するもののみ記載。

## 2 経営指標

項目		2022年度実績	2021年度実績	2021年度 類似団体平均※2
経営の 健全性	経常収支比率【単年度損益】	95.53%	100.97%	100.14%
	流動比率【キャッシュフロー】	93.49%	101.36%	104.74%
経営の 効率性	汚水処理原価【費用の効率性】	48.53円/m3	44.66円/m3	48.70円/m3
	施設利用率【施設の効率性】	77.43%	77.41%	68.05%
	水洗化率【施設の効率性】	87.48%	87.19%	94.14%
老朽化 の状況	有形固定資産減価償却率【施設全体の減価償却の状況】	14.59%	11.19%	34.17%

※2 類似団体平均は、全国の流域下水道事業を実施している自治体のうち、供用後30年経過している自治体の平均。

## 3 投資・財政計画との比較

収益的収支(税抜) (単位:千円)

区 分		2022年度			
年 度		計画値(A)	実績値(B)	(B)-(A)	(B)/(A)
収 入	営業収益	13,004,141	12,965,072	△ 39,069	99.7%
	営業外収益	16,197,835	16,529,712	331,877	102.0%
	収入計	29,201,976	29,494,784	292,808	101.0%
支 出	営業費用	27,481,654	28,043,301	561,647	102.0%
	営業外費用	1,699,464	2,833,098	1,133,634	166.7%
	支出計	29,181,118	30,876,399	1,695,281	105.8%
当年度純利益(又は純損失)		20,858	△ 1,381,615	△ 1,402,473	△ 6,623.9%

資本的収支(税込)

(単位:千円)

区 分		2022年度			
年 度		計画値(A)	実績値(B)	(B)-(A)	(B)/(A)
収 入	企業債	7,148,000	5,947,000	△ 1,201,000	83.2%
	他会計出資金	1,811,891	1,524,556	△ 287,335	84.1%
	国庫補助金	8,966,571	5,216,971	△ 3,749,600	58.2%
	建設負担金等	1,813,159	1,480,981	△ 332,178	81.7%
収入計		19,739,621	14,169,508	△ 5,570,113	71.8%
支 出	建設改良費等	15,014,670	9,894,652	△ 5,120,018	65.9%
	企業債償還金等	8,902,509	9,003,263	100,754	101.1%
	支出計	23,917,179	18,897,915	△ 5,019,264	79.0%
損益勘定留保資金等充当額		4,177,558	4,728,407	550,849	113.2%

## 4 2022 年度の主な取組

### ○汚水処理施設整備(管きよの整備)

- ・新川西部流域下水道 春日幹線 第4工区 L= 505m (完了)、  
第5工区 L= 857m (2023 年度完了予定)

### ○汚水処理施設整備(水処理施設の増設、高度処理施設の整備)

- ・矢作川浄化センター Q=20,000m3/日 (2023 年度完了予定)
- ・境川浄化センター Q=17,400m3/日 (2024 年度完了予定)
- ・五条川右岸浄化センター Q=8,000 m3/日 (2025 年度完了予定)
- ・新川東部浄化センター Q= 5,140m3/日 (完了)

### ○地震対策(処理場の耐震化、非常用自家発電設備の整備)

- [処理場の耐震化] 矢作川浄化センター、五条川右岸浄化センター
- [自家発電設備の整備] 矢作川浄化センター(完了)、衣浦東部浄化センター(2023 年度完了予定)、日光川下流流域下水道 弥富ポンプ場(完了)

### ○老朽化対策(処理場)

- ・矢作川浄化センター、境川浄化センター、衣浦西部浄化センター、衣浦東部浄化センター、豊川浄化センター、五条川左岸浄化センター、日光上流浄化センター、五条川右岸浄化センター、日光川下流浄化センター

### ○下水汚泥のエネルギー利用

- ・矢作川浄化センター(バイオガス燃料利用) ・豊川浄化センター(バイオガス発電)
- ・衣浦東部浄化センター(炭化燃料製造) ・衣浦西部浄化センター(焼却廃熱利用)

### ○施設・土地の有効活用

- ・衣浦西部浄化センター、豊川浄化センター、日光川下流浄化センター(太陽光発電・土地貸付)